

令和8年度愛川町町内循環バス再編検討支援業務委託 仕様書

1 目的

高齢化やライフスタイルの変化等を背景として、公共交通へのニーズが変化しているほか、運転手不足等により民間の路線バスのサービスが縮小している状況にある中で、愛川町町内循環バスのルートやダイヤ等を最適化し、利便性の向上や効率化を図る。

2 計画準備

受注者は、契約後すみやかに業務の目的・主旨を理解したうえで、4に示す業務内容や「愛川町地域公共交通計画（令和8年3月策定予定）」に示す交通ネットワークのあり方等を確認し、業務概要、業務工程、実施方針、打合せ計画、連絡体制等の事項について業務計画を立案する。

3 業務管理

受注者は、次の事項に留意し、業務を進行管理するものとする。

- ・事前に発注者と十分な協議を行い、業務の意図及び目的を十分に理解し業務に当たること。
- ・企画提案の内容を業務に反映させること。
- ・管理体制を明確化し、円滑に業務を遂行すること。
- ・再編後の実証運行は令和9年度当初から実施する予定とするため、的確に進行管理すること。

4 業務内容

(1) 愛川町町内循環バスに関する現状整理

民間の路線バスの運行状況や町内の施設立地（商業施設、医療機関、公共施設等）を整理する。

(2) 過年度調査結果等の分析

町内循環バスの利用状況や過去に実施した乗降調査をはじめ、別途路線バス事業者から提供を受ける路線バスの乗降データ等の既存データを分析し、再編検討に係る基礎資料とする。

(3) 町内循環バスの利用実態の把握

町内循環バスの全系統、全便で平日1日乗降調査を実施し、最新の利用動向を把握する。

※町内循環バスは3系統あるが、中津東部・小沢ルートと中津西南部ルートは同一の車両で交互に運行している。

(4) 町内循環バスの利用者ニーズの把握

利用者のニーズを把握するためのアンケートを作成、配布、回収し、結果を分析する。

実施方法は、利用者（100人程度を想定）に対しアンケートを配布し、郵送にて回収するものとする。なお、調査票の返送先は受注者とする。

(5) 運行計画案の作成

上記の結果や民間の路線バス、その他多様な交通手段等の運行状況を踏まえ、望ましい運行形態（定時定路線型、デマンド型など）やルート、ダイヤ、運賃等を検討するとともに、「愛川町地域公共交通計画」に掲げる施策等との連携も踏まえた運行計画案を作成する。

(6) 国県補助金の情報収集

本業務に関連する国県補助金の情報収集を行い、その活用について発注者にアドバイスを行うものとする。

(7) 周知物の作成

再編後の運行内容を周知するチラシ(A3両面二つ折り程度を想定)のデータを作成する。

(8) 愛川町地域公共交通協議会に係る資料の作成

「愛川町地域公共交通協議会(令和8年度に3回程度開催予定)」で本件を協議する際に必要となる資料を作成する。

(9) 打合せ協議

本業務を円滑かつ効率的に遂行するため、事務局や交通事業者と適宜打合せ(3回程度)を行う。

(10) 成果品の作成

本業務の遂行について次のとおり作成の上、納入する。

- ・業務報告書 2部
- ・上記の電子データ 1式